

尚々今度市兵へ殿
 御仕合能早々御目見へ
 御帰り候、貴様儀御老仁
 此方一入御なつかしく候
 よしいかにもく尤
 奉存候、拙者も年寄
 今一度懸御目度と
 存事候、不相替貴様
 御同意^ニ九右衛門殿と可得
 御意候、御上り能時分
 九右衛門殿御越可被成候
 互^ニ息災^ニて如此書状
 取替目出度候、先以
 九右衛門殿近年ハ御仕合能
 渡海之旨「 」
 弥打続御仕合も
 よく候半と奉存候
 委細ハ市兵殿御物語
 可被成候、以上
 五月廿一日之御札
 村川市兵衛殿持參
 致拝見候、先以其許
 相替儀無之、貴様
 被寄御年候得とも
 弥御達者之由、目出
 珍重候、被仰越御
 紙面致承知候
 最早御当地^{江者}
 御越有之間鋪旨
 於然^者存命之内
 得御意間鋪^与一入
 御床敷候、爰元別条
 無之、四郎五郎父子
 堅固^ニ被相勤候間
 可御心易候、次我等儀^茂

無恙罷在候、猶期後

音時候、恐惶謹言

龜山勝左衛門

八月四日

□□

(花押)

大屋瀬兵衛様

御報